

◆ 担当教員：平澤賢一教授（専門分野：国際経営論）

東京都出身。外資系企業勤務を経て本学に赴任。

◆ 卒業研究では、机上論に留まらぬように企業へのインタビュー調査など実施します

ゼミのスローガン：**A desk is a dangerous place from which to watch the world.**

◆ ときに、企業の方々や、企業勤務のゼミ卒業生が、ゼミに参加していただきます

← 毎年恒例、樹齢六百余年の石部桜でのお花見ゼミ

モットーは「**真摯に、されど愉快地！**」

← 大手証券会社主催のセミナーでゼミとご縁のある講師と再会

大手電機機器メーカー取締役による特別ゼミ

→

← 日本経済新聞（全国紙）に入賞レポート概要が掲載（2012.7.18.& 8.8.付）

大手米系IT企業でのインタビュー調査 →



平澤ゼミの活動





石巻専修大学にて、石巻専修大生と近畿大生との合同討論会に参加（2011年10月）

← 東京証券取引所でのセミナー参加



石巻、木の屋水産社長のお話を伺い、その後、津波被害を受けた本社前にて
←（2011年10月）



平澤ゼミの活動



←日本経済新聞社（東京本社）での他大学との懇談会に参加

京都に本社があるN社営業部長による特別ゼミ →



←長年の障害者雇用で著名なN社社長へのインタビュー後（神奈川県川崎市）（2018年4月）



← ゼミのオフタイム：英語ゲーム SCRABBLE



I R 活動

について調査

情報提供

IRとは**企業が株主や投資家に対し**投資判断に必要な企業情報を適時、公平に継続して提供する活動のこと。
(I R 協議会より)

- ・ 株主
- ・ 投資家



卒業研究事例①

十数社の上場企業に問い合わせをしました。

そのときの企業対応や学びを踏まえ、もっと多くの上場企業を対象とし**企業の I R 活動のあり方**に焦点を当てて経営学の視点から調査研究することにしました。

← 福島民友 (2015年7月21日付・12面) より

大学力
ゼミ 発見

会津大短期大学部産業情報学科経営情報コースの平沢賢一ゼミでは、経営学を学んでいる。株式学習コンテスト「日経STOCKリレー」に出場することを自標の二つにして、研究のなかで、学生は自分の頭で考え、相手に意見を伝える能力を身に付けていく。

本年度は2年生7人が在籍。企業が投資家に対し必要な情報を開示するIR（インベスターリレーションズ）活動の企業差をテーマに研究を進めている。おももしろさがある。社会インターネット検索だけでなく、人とたくさん接するので、自然とメンバーが身に付く。

郵送調査やオンライン調査など、活動は幅広い。ゼミの主旨は学生主体の調査を始める。年の高橋実咲（みつき）さんは、現代企業が抱えている問題を浮き彫りにしたいと意を決める。

企業 I R 情報を調査

会津大短期大学部産業情報学科経営情報コース・平沢賢一ゼミ



話し合う学生たち。中央の机はホワイトボードになっており、文字や絵図を交えて自由に議論できる

テレワーク（ICTを用いた在宅勤務）をテーマに投資銘柄を選定しました。それを日本テレワーク学会で発表。他大学の教授、弁護士、経営者から貴重なアドバイスをいただきました。



日本テレワーク学会で研究発表
(2016.7.2.都内)

数十社の上場企業に問合わせをしました。

色々な視点から企業に調査をし、経営学の視点から卒業研究に取り組むゼミです。

←日本テレワーク学会で研究発表
(2016.7.2.都内)

政府四省庁が主催するテレワーク
推進イベントに参加
(2016.11.28.都内)



卒業研究 事例②



卒業研究 事例③

2チームに分かれ、**食品ロス**、**障害者雇用（特例子会社）**をテーマに調査研究しました

食品ロスでは、コンビニ各社の食品ロス実態について調査しました。

障害者雇用では、特例子会社のマネジメントについて実態調査をふまえました。

日本での「食品ロス」年間約632万トン！

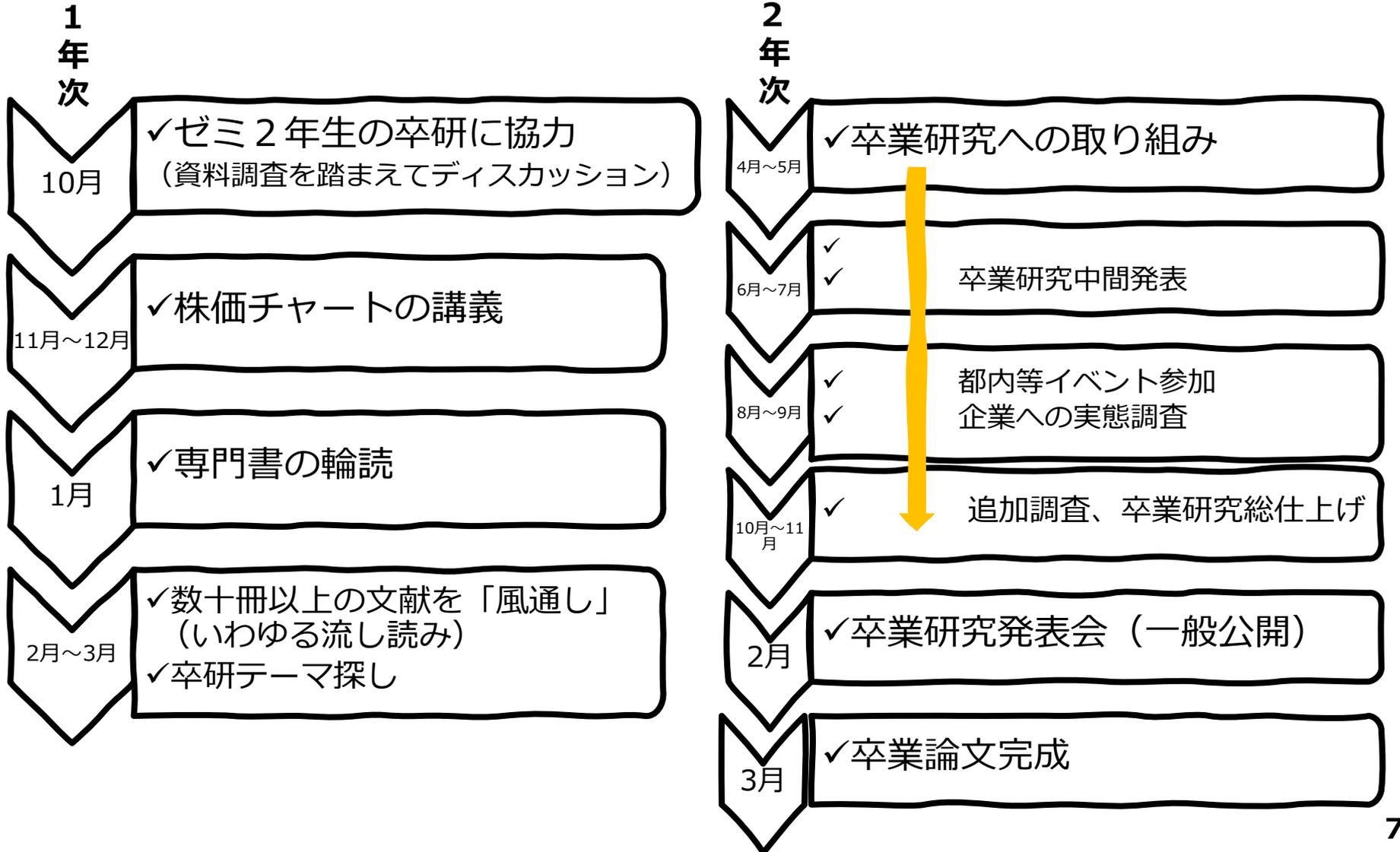
1人1日お茶碗約1杯分（約136g）の食べ物が捨てられている



これまでの主な卒業研究テーマ

- 『伝統的工芸品産業の持続可能性への模索：会津漆器業界における消費者ニーズの把握と対策の観点から』
- 『カーシェアリングを試乗車として活用することの模索』
- 『精神障害者雇用における企業と外部機関の連携』
- 『LGBT施策を実施する企業の業績比較：アライ活動の有無に着目して』
- 『企業におけるテレワーク定着要因：カルビーの事例から』
(日本テレワーク学会で報告)
- 『企業における女性の活躍推進：トップとミドルの役割』
- 『障害のある生徒への一般就労支援：特別支援学校高等部を事例として』
- 『企業における障害者雇用の実践モデル』
- 『老舗企業に学ぶ企業存続条件：風評被害に直面する企業を事例として』
- 『福島県立病院の経営改革：全国公立病院の黒字経営を比較検証して』
- 『技術者の能力開発：情報サービス産業を事例として』
- 『経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス』

ゼミ活動の流れ



平澤ゼミ OG・OBの 主な進路先

<主な就職先>

- 東邦銀行
- 大東銀行
- 大東銀行
- 北越銀行
- みずほ銀行
- 丸三証券
- 会津しんくみ
- 会津中央病院
- 会津オリンパス
- 日本電産コパル
- パナソニック系子会社
- コメリ
- ライトオン
- ル・プロジェ
- 幸楽苑
- 某会計事務所
- 某経営コンサルティング会社
- 会津若松市役所
- 葛飾区役所
- 自衛隊

<編入学先>

- 北海道大学 (農学)
- 東北大学 (経済)
- 福島大学 (経済)
- 新潟大学 (経済)
- 宇都宮大学 (工学&国際)
- 埼玉大学 (経済)
- 会津大学
- 京都産業大学 (経営)
- 山形大学 (人文)

就職でも、編入学でも「面接」があります。ゼミ生たちの**主体的な議論**を重視しているので、毎回のゼミ活動が、面接の練習にもなっています